

平成 28 年度 一般会計 決算討論 賛成多数で可決

賛成

数値的な効果検証の実施を

青藍会 渡辺 大議員

民間保育園4園が開園、受け入れ児童数の定員が247人分増加。全ての放課後児童クラブが、学校敷地外の施設から学校敷地内に整備された。引き続き力強い子育て支援を望む。

元気・健康マイレージ事業では、参加者のうち国民健康保険加入者外来分の医療費が、実施後に18.7% (20725円) 減少したことは大きな成果。

来年以降の決算審査充実のため、地方自治法233条5項に定められた「主要な施策の成果を説明する書類」である「ふじみ野市歳入歳出決算に係る主要施策の実績報告」の内容の充実を望む。

健全財政の維持と、課題解決のための積極的な姿勢と数値的な効果検証の実施を期待する。

反対

豊かな財源生かし市民サービス向上

日本共産党 新井光男議員

決算は12億398万7千円の黒字。他会計を含む各種基金を合わせると約118億3624万円と過去最大の残高。

この豊かな財源の一部を、145名の入所保留児童の対策や、子どもたちのスポーツ施設使用料の無償化等に使うべきであった。小中学校の35人学級に振り向けて子どもに豊かな教育を保障すべき。市4Hクラブ補助金2万円を10倍の20万円に引き上げて都市農業を応援すべき。既存住宅耐震化促進事業の予算は5万円と少ないので制度設計変更など、豊かな財源を生かし市民負担軽減とサービス向上に財政運営を切り替えるべきだ。

賛成

市民が安心して心豊かに暮らせるまちに

公明党 伊藤美枝子議員

市税は生産年齢人口増加や経済効果により増額となった。収入未済額も税収確保の取り組みで年々減少している。今後、大型店舗の出店や企業誘致の推進に期待する。歳出では子育て世代へのPR冊子の作成、放課後児童クラブの学校敷地内への建設、なの花学校給食センターでの食物アレルギー除去食の提供等を評価。児童発育・発達支援センターでは早期発見・療育に加え切れ目のない支援を期待する。お出かけサポートタクシーは、交通弱者の利便性の向上につながった。元気・健康づくりはマイレージ事業と合わせ医療費の減少など効果が見られた。文化振興計画の推進で、芸術環境の整備や芸術にふれる機会の充実を期待する。

賛成

健全な財政運営の継続を

信政会 谷 新一議員

歳入は、国、県交付金を有効的に活用し、国の補正予算にも柔軟に対応した。また、合併特例債や他の有利な起債を活用し、適切な財源確保ができた。

歳出は、民間活力の導入で環境センターやなの花学校給食センターが事業を開始し、給食センターでは、アレルギー食の全校対応が可能となった。

その他、元気・健康マイレージ事業で医療費の削減効果、亀久保交差点改良事業では用地買収が大きく前進したことを評価する。

引き続き、行政改革を執行し、将来を見据えた健全な財政運営をお願いする。

賛成

今後も未来に向けた配分を

無所属 民部佳代議員

広域ごみ処理施設、学校給食センター整備など、順調に予算執行できたことを評価する。建築費が高騰し財源確保や事業者との折衝等、苦労も多かったはず。

歳入は人口・住宅の増はもちろん、市税の滞納繰越分を長期になる前に催告するなど徴収率を上げ、増収となった。一方、ふるさと納税は財源確保の手段であり目的ではない。原点到り、見直しを。

拡充した市民総合相談は成果が現れにくい、本当に困っている人の希望となった。

地方債残高が年々増加している。将来の重荷にならぬよう、未来に向けた配分を今後も進めてほしい。